

第三回 魅力ある学校づくりの推進連絡協議会資料

令和8年3月2日
三中ゾーン 三中 小山

みんながもっと楽しく通える「ワクワクする学校」について生徒アンケート結果より

| | 和泉小学校 | 第三中学校 |
|------------------------|---|---|
| ワクワクする学校ってどんな学校？ | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日が楽しくて、新しい発見ができること。 ・みんなの笑顔があふれていること。 ・授業や勉強が楽しくて、図工やタブレットを使ったり、自分の好きなことをとことん調べたりできる環境。 ・行事やイベントがたくさんあって、休み時間が長かったり、校庭が広がったりすること。 ・いじめやケンカがなく、全員が仲良く安全に過ごせること。 ・自分たちでやりたいことを選べる、自由な雰囲気があること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・誰でも「自分の居場所」だと思えること。 ・楽しくいじめのないこと。 ・生徒主体で活動すること。 ・明るく活気があること。 ・他学年との交流があること。 ・挨拶が自然にできること。 ・お互いの意見がいいやすいこと。 ・みんなが楽しいと思えること。 ・一人ひとりの個性が発揮できること。 ・お互いに助け合えること。 |
| もっとワクワクする学校にするために必要なこと | <ul style="list-style-type: none"> ・新しいイベントを計画したり、違う学年の人と話すチャンスを増やしたりすること。 ・みんなが安全に過ごせるように、ルールや約束を守って、いじめや怪我をなくすこと。 ・笑顔、感謝、思いやりの気持ちを持って、失敗を恐れずにチャレンジすること。 ・学校の中に居心地が良い場所を増やしたり、遊具を新しくしたりすること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・他の人の意見をすぐに否定せず、お互いの意見を認め合えること。 ・校舎の改築など環境を整備すること。 ・行事を増やすこと。 ・自主性を高めること。 ・挨拶を増やすこと。 ・縦割りの行事を増やすこと。 ・思いやり、団結力、自ら取り組もうとすること。 ・さらなる団結力、責任感をもつこと。 |
| みんなにできること | <ul style="list-style-type: none"> ・児童会や委員会などで新しいイベントを考えて、学校を盛り上げること。 ・自分から進んで挨拶をしたり、困っている友人を助けたりすること。 ・ルールを守って、授業に一生懸命取り組むこと。 ・相手の気持ちを考えて、言葉遣いに気を付け、みんなで協力し合うこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ・银杏募金のようなボランティア活動をすること。 ・地域の方々と交流すること。 ・多摩川での活動に参加すること。 ・今の三中も本当に良い学校だと思います。先生も生徒も明るく信頼関係ができており、楽しい学校です。さらによくするためには、生徒一人ひとりの責任感が増すとよいと思います。 |

| | | |
|-------------|--|---|
| 先生にお願いしたいこと | <ul style="list-style-type: none"> ・「おもしろくてわかりやすい授業」をしてほしい。 ・みんなの話をしっかり聞いてくれて、優しく笑顔で接してほしい。 ・みんながやりたいと思ったことを応援して、手伝ってほしい。 ・いじめがないように見守ってほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学生のこの時期はいろいろ悩むことも多くなると思います。先生が時間のある時にもっと生徒と話をしてほしいです。 ・セキュリティの強化をしてほしいです。 ・水道の水がまずくて飲めないのをおいしくして下さい。 ・規則を守っていない生徒をしっかり注意してほしい。 |
|-------------|--|---|

各校保護者アンケートの結果を受けて

【和泉小学校】多くの項目において90%を超える高評価を得ていた。この結果は今年度の和泉小学校における取組が、保護者、生徒からの高い満足度を得ていたと判断できる。その中で、「お子様は、英語学習に楽しく取り組んでいる。」の項目が保護者71%と他と比較すると低い結果となった。このことを受け、英語授業のスキルアップはもちろん、保護者への発信も増やしていきたい。「あなたは、困ったことや心配なことがあったときに誰かに相談できていますか」の項目が保護者の認識より4ポイント低い、86%であった。一見すると高い数値だが、逆の見方をすると、14%の児童が相談できないと感じており、ここにスポットを当て、次年度以降の取り組みの手がかりとしていきたい。

【狛江第三中学校】保護者のアンケートでは70%を切った項目が21項目中7項目あり、厳しい結果となった。特に「学校外での勉強を（塾などに行っている時間も含めて）、お子さんは1日平均1時間以上勉強している」の項目が52%と特に低い結果となった。この項目については、生徒の結果も58%と低かった。生き方指導などを通し、勉強する意欲を高めるとともに、個別最適な学びを充実させ、自ら学ぼうとする姿勢を身に付けさせていきたい。「お子さんを狛江三中に通わせてよかったと思っている」の項目は保護者生徒ともに高い数値であるが、他の項目において保護者の数値が低い。学校への期待の高さともとれる。次年度は生徒の活動を保護者へ公開する機会を増やすとともに、保護者との連携を強め、チームでの学校づくりに努めていきたい。

各校の今年度の重点的な取り組みと今後の取り組み

| | 和泉小学校 | 第三中学校 |
|----------------|--|--|
| 今年度重点的に行った取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさを発揮できる活動 ・起業家教育（コーヒーの販売） ・アトラクションを共同開発する取り組み ・多様性を認める心の育成 ・ゴミから発生した探求学習 ・地域の大人との対話 ・子供たちの居場所づくり ・教職員、保護者、地域との共同 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさを発揮できる生徒の育成 ・自分の良さ、仲間の良さを肯定的に認めることのできる生徒の育成 ・「三中は優しさでできている」をスローガンに掲げ、思いやりと優しい心を育てる取り組み ・個別最適な学び ・全員参加型の授業 ・银杏募金を形骸化させないため、今年度募金先である日本盲導犬協会の方からお話を伺い、活動の意義についての理解や、価値づけを行った。 |

| | | |
|---------------------|--|--|
| <p>次年度行う予定の取り組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・チーム担任制・教科担任制の導入 ・引き続き生徒が作る学校の推進 ・外国語教育の取り組みを保護者へ発信していく ・サードプレイスの子供の視点に立った運営。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者への情報発信の強化 ・生徒が企画・運営に参画し、主体となって作る行事を増やす ・银杏募金での生徒の満足度を上げていく。 ・不登校対応の充実に向けリフレクシオンルームの生徒の視点に立った運営。 |
|---------------------|--|--|

学校運営協議委員会での話し合い

議題① 現在のゾーン運営で描く育てたい子ども像

議題② 未来に引き継ぎたい三中ゾーンの強み

議題③ 現在取り組む中で不足、追加が必要な資源、環境

議題④ 外部から得たキーワードや教育プログラムなどを粕江に取り入れる際の留意点

以上四点について話し合った。

議題①(現在のゾーン運営で描く育てたい子ども像)についての意見

- ・子どもたちが将来幸せに生きていける力。(自らの力でご飯を食べていける力)
- ・自分らしさを発揮できる力、多様性を認められる心。
- ・自他ともに良さを認める力
- ・自他ともに優しくできる心。
- ・善悪をしっかりと判断できる力。
- ・探求心と粘り強さ。

議題②(未来に引き継ぎたい三中ゾーンの強み)について意見

- ・粕江市は小さなコミュニティーであるがゆえに、地域協力者同士の根強い関係ができている。しかし、それは諸刃の剣で、新しい若い世代の方々が入ってきづらい雰囲気にもなっている。この点を改善し、若い世代の参入を促していきたい。
- ・三中ゾーンは和泉小学校⇒第三中学校というように基本1対1の関係があり、強固な関係を作れている。
- ・サマー和泉の日、お化け屋敷、など三中の生徒と和泉小の児童とのとてもよい交流の場となっており、今後も継続していきたい。

議題③(現在取り組む中で不足、追加が必要な資源、環境)

- ・現在の委員会のメンバーの繋がりが強固なゆえに、他の地区からの転居者などの新しい参加者が入りづらくなっている。新しい風を吹かせる工夫が必要である。
- ・今以上に子どもたちを前面に出して主体性を育て、大人は裏方のサポートに回る。
- ・我々の得意分野を生かしたイベントの企画など、新しい発想も積極的に取り入れていく。

議題④(外部から得たキーワードや教育プログラムなどを粕江に取り入れる際の留意点)

- ・今後検討していく。